

群馬県観光国際協会が発足

観光振興 国際交流 宿泊あっせん



尾瀬ヶ原

大切にします ぐんまの出会い

今年4月1日、群馬県に新しい観光団体「財団法人群馬県観光国際協会」が発足した。観光関係4団体の再編・統合という、ダイナミックな手法が目玉を挙げた。関係者の力を結集し、民間団体としての特色を生かした事業を、迅速に、強力に、効果的に展開する。と同協会は意気込む。発足記念事業もスタートし、群馬の観光は政府が標榜する「観光立国」に呼応するかのようになり、一歩を踏み出した。

観光国際協会は、群のあっせんや観光振興な馬県国際交流協会(主など)の4団体が再編事業は国際交流に関する、統合され、国際交流協相談や在任外国人への支、会が母体となって発足し援など)群馬県観光協、知事が名譽会長を務(観光香誘致促進や観、理事長には観光協会光情報の収集および提供、理事長には観光協会(群)群馬県観光開、会長の宮崎謙一氏(草津公社(県有施設)の管理、ハイランドホテル)が就よび経営など)群馬県、いた、昨年、県に観光局が新温泉旅館協同組合(旅客、

4団体を統合 基本財産9億

折しも観光開発公社が解散することが決ま

設され、「観光」が行政の大きな柱の一つとなつた。折しも観光開発公社が解散することが決まり、残余財産を類似団体へ引き継ぐことになつた。「枠組みを変える大きなチャンス(関係者)であり、再編・統合(関係者)が一新、観光・国際交流に関する電話相談、英語、オメーションセンターの開設などを手がけ、今年2月には県旅館ホテル生活衛生同業組合を含めた5団体が再編・統合に関する協定を締結した。また、旅組は厚生労働省の方針もあり、解散せず、協力という形で参加した。観光国際協会は基本財産約9億、94会員でスタートとなった。同時に、2つの発足記念事業も始めた。



法師温泉

財団法人 群馬県観光国際協会

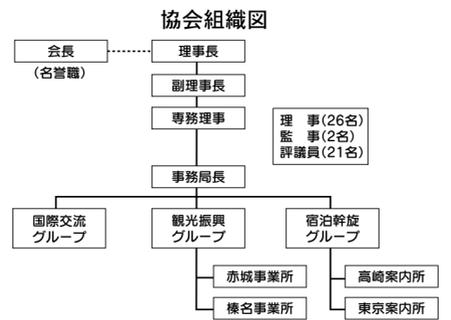
〒371-0026 前橋市大手町2の1の1群馬会館3階 ☎027-243-7273 FAX 027-243-7275

E-mail gtia@gtia.jp

<http://www.gtia.jp/>



協会が入る群馬会館(前橋市)



特別インタビュー 宮崎謙一理事長に聞く

4団体の統合は全国的にも珍しい。一歩は本格的にも珍しい。「昨年春、県庁に観光局 捨てた大向かいに、この振興が興政の柱の一つに設置された。これは観光とた」。群馬に限らず、多くの団体は官からの補助金減サイトをそれぞれに対応して、分散している力を集約し、観光局より強力に連携できる組織が必要ではないかとの気運が盛り上がった。各団体は互いの趣旨、事業、観光協同組合の場合、

「旅のあっせんや観光の気運が盛り上がった。各団体は互いの趣旨、事業、観光協同組合の場合、

「旅のあっせんや観光の気運が盛り上がった。各団体は互いの趣旨、事業、観光協同組合の場合、

各団体のパワーを結集 県との連携もより強化

「基本財産は約9億円で、開設したり、協会ホームページ、観光・国際交流に関する電話相談、英語、オメーションセンターの開設などを手がけ、今年2月には県旅館ホテル生活衛生同業組合を含めた5団体が再編・統合に関する協定を締結した。また、旅組は厚生労働省の方針もあり、解散せず、協力という形で参加した。観光国際協会は基本財産約9億、94会員でスタートとなった。同時に、2つの発足記念事業も始めた。



南牧の火とばし

発足記念事業

「群馬の旅 エッセイ」募集。賞状と副賞として群馬の観光振興料。ただし、宿泊あっせん料(2人)には賞状は協会で行う。群馬の旅の思い出や出会う旅に関するエッセイを募集する。1人1作品で賞(10人)には賞状と宿泊券2万円がそれぞれ贈られる。発表は12月。オールド型旅行プラン「ぐんま風物語」の提供。県に2泊以上(旅館・ホテル)の旅行を考えている人に、群馬を熟知したスタッフが地域と連携したプラン資料を送付する。旅行者の要望に沿って、

